

# 令和8年度 個別支援学級 教育課程説明会資料

## 1, 個別支援学級の教育目標

「生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、身につけさせたい資質・能力を明確にし、目標、学習内容を設定し、指導、支援をしていくことで、現在および将来の自立と社会参加の基礎を養います」

### 知的障害学級の教育目標

「知的機能の発達の遅れに合わせて教育課程を編成し、適応能力の困難性の改善を図っていきます」

### 自閉症情緒障害学級の教育目標

「一般学級と同じ教科等の学習に加え、自立活動の学習内容を中心として、対人関係の形成や生活に必要なルール、心理的安定や集団参加に関することを学習し、情緒の安定等を図っていきます」

## 2, 学級経営方針

### ①生徒の思いや願い、よさを大切にします。生徒の実態把握を丁寧に行います

「生徒が生きる力を身につけるためには、「やりたい」「頑張ってたよかった」「もっとこうしたい」という主体的な思いをもつことが大切です。生徒の興味・関心・よさを大切にした学級経営を行い、学校生活の様々な場面で、主体性を引き出すことを重視します。」

#### 一人ひとりの生徒の実態把握の具体

- 一人ひとりの生徒との信頼関係を築き、よさや興味、関心、得意なことを把握します。
- 前年度までの引継ぎ資料、個別の教育支援計画・個別の指導計画、特総センターの「就学・教育相談報告書」等から障害特性、発達段階、学習状況等を把握します。
- 家庭や地域、関係機関と連携し、家庭や地域での様子、本人、保護者の思いや願いを把握します。
- 学习上、生活上の障害による「困難さ」を把握します。

### ②様々な学習形態で、一人ひとりの力を伸ばします

- 個別課題学習、小グループ学習、学年別集団学習、障害種別学習、全体の一斉学習、等の様々な学習スタイルで、安心して学習できる環境をつくります。
- 生徒の実態に応じて、一般級への授業交流も視野に入れて、個々に応じた教育課程の編成を行います。

### ③保護者との連携を大切に、信頼される学級経営を目指します

- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成  
「保護者・本人の願いを丁寧に聞き取り、教育的ニーズを把握し、目標を共有し、生徒をともに育てる関係づくりを目指します。」
- 日頃のやりとり、信頼関係の構築  
「備忘録やすぐーる連絡等で、生徒の学校での様子や指導の意図、指導の計画等を細やかに情報提供し、信頼関係の構築を目指します。学級の定期的なお便り等を発行して、保護者にも学校での様子を知ってもらう機会をつくります。」

### ④個別支援学級の行事と、学校全体の行事のそれぞれにねらいを明確にして参加します

- 学校行事や市・区個別級合同行事への参加の際に、どのようなねらいをもって参加するか、そのときの配慮事項や支援体制などを保護者・生徒と相談し、明確にしておきます。

## 4, 教科指導と校内交流

- 生徒の発達段階や特性に応じて、適した学習形態で授業を行います。  
(個別課題学習 / 小グループ学習 / 障害種別分け授業 / 合同一斉授業 / 一般級交流授業)
- 10組担任以外の教科担任も10組の授業を受け持っています。
- 校内交流を行い、インクルーシブ教育を実践しています。(朝の会、学活、学年行事、学校行事、授業交流)